

竹島 徹 理事長退任記念誌

社会医療法人若竹会 35周年記念

わかたけヘルスケアシステム



35th
Anniversary



良き治療
良き看護
生命の創造

Cure Care Creation

理念としては、①厚労省の唱える「地域包括ケアシステム」の一翼を担う②患者・利用者ファーストの立場から短時間で手問のかからない保険手続き・施設移動・コスト安価・便利・安心などのメリットを得るなどである。

本システムは、社会医療法人若竹会と社会福祉法人若竹会から成り立つとともに、医療と介護を統括する組織である。2つの病院、2つのクリニック、3つの訪問看護ステーション、4つの老健、2つの特養、6つの有料老人ホームなどから構成される。

病院・介護施設などに携わり本システム下の業務とされる実際例を列記する。

- (1) 医療福祉業績発表会（年1回開催、全職員参加）。
- (2) 人事評価制度（チャレンジ面接制度）能力主義・成果主義を基本（全職員）

- (3) アメーバ経営手法（アメーバリーダー会議1回/2か月、全職員）、組織を小規模に分割し、それぞれで採算を確認するマネジメント手法である。社会において働き方改革が話題であるが、職員個人の時間当たり採算の測定が重要である。

- (4) 5S推進活動（全職員 業務の5Sも）などである。グループ代表委員による成果発表会開催。

- (5) 阿見町セントラルキッチン工場の新設予定。

結び

最後に、金子剛病院長、金子洋子理事長両人のこれからの病院・法人に対する力溢れる抱負と決意をお聞きした。法人職員の皆様におかれましても未来への希望は同じだと思う。立ち上げ中途の事業もあり、新たなステージを作っていく頂き

たいとお願い申し上げます。これからのセントラル病院・若竹会法人の未来は磐石だと確信します。

ここにこれまでお世話になった法人内外の皆さまに甚深の感謝を捧げます。ありがとうございました。

竹島 徹 Toru Takeshima

1940年 7月30日生まれ
1959年 3月 ……静岡県立沼津東高等学校卒業
1966年 3月 ……千葉大学医学部卒業
1967年 4月 ……千葉大医学部大学院入学
1971年 3月 ……千葉大学医学部大学院卒業 医学博士号取得
1971年 4月 ……千葉大学医学部第二外科入局
1972年 4月 ……川鉄病院（現 千葉中央メディカルセンター病院）外科医長
1974年 8月 ……米国ニューヨーク マウントサイナイ大学医学部外科クリニカルフェロー
1975年 9月 ……筑波大学臨床医学系外科（消化器）講師
1988年12月 ……つくばセントラル病院 院長
1993年 3月 ……医療法人つくばセントラル病院 院長・理事長
1998年 4月 ……筑波大学医学部専門学群臨床教授兼任
1999年 4月 ……社会福祉法人若竹会 理事長兼任



株式会社常陽銀行
取締役頭取

秋野 哲也

社会医療法人若竹会35周年祝辞

この度、社会医療法人若竹会がめでたく創立35周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

日頃より、「1人の人を大切にする慈愛の医療と福祉の活動に徹する」という理念のもと、地域の医療・福祉サービスの充実に竹島理事長はじめ職員の皆様のご尽力されていることに対し、深く感謝申し上げます。

また、この度ご退任されます竹島理事長におかれましては、永年にわたり貴法人の先頭に立ち、質の高い医療サービスの提供、時代に先駆け「地域包括ケアシステム」の構築にご尽力いただきました。これまでの地域医療への多大なる貢献に深く敬意を表する次第です。

今後も貴法人がこれまで培った知見と実績を活かし、引き続き地域住民のニーズに応じた質の高い医療・福祉サービスを提供されることを期待しております。結びに、改めまして竹島理事長のこれまでのご功績に対し感謝申し上げますとともに、貴法人の益々のご発展と皆様のご健勝、ご活躍をご祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



監査法人長隆事務所
代表社員

長 隆

つくばセントラル病院 竹島徹理事長のご退任 及び開院35周年に際してのご挨拶

この度はつくばセントラル病院竹島徹理事長のご退任、及び開院35周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

思い起こせば25年前、公認会計士長隆事務所とご契約頂いてから、四半世紀の長きに及び多大なご貢献を賜り心より御礼申し上げます。

社会医療法人若竹会様の決算も素晴らしくなっております。事業収益143億円、税引純利益7.4億円、純資産53億円は、誇るに足る業績と存じます。

書籍「産後ケアの全て」内の、竹島絹子先生の論稿「行政との連携で進める産後ケア～地域の親子は地域で支える～」でも触れていただいておりますとおり、2015年4月に産後ケアセンター「いろは」の院長様と一緒に厚生労働省の児童家庭母子保健課を訪問したことから、牛久市内の産後ケア事業が始まりました。竹島徹様には、ご退任後も産後ケア事業のサポートをお願いしたく、益々のご健勝をお祈り申し上げます。